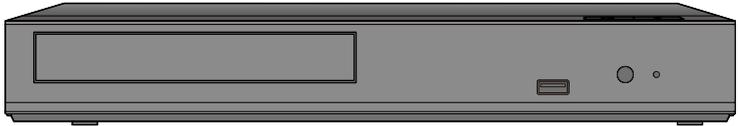


# Panasonic<sup>®</sup>

## 取扱説明書 活用ガイド ブルーレイディスクプレーヤー

品番 DP-UB45S

**ULTRAHD**<sup>™</sup>  
*Blu-ray*



本機を使用させていただくためのサポート情報は、パナソニックホームページをご覧ください。  
<https://panasonic.jp/bdplayer/support.html>

### ソフトウェアの更新 (13 ページ)



当社はお客様に最新技術を楽しんでいただけるよう、本機のソフトウェアを随時更新しています。  
ソフトウェア更新のお知らせがあった場合、すぐに更新していただくことをお勧めします。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（付属冊子「取扱説明書」）を必ずお読みください。

# 目次

## はじめに

付属品を確認する.....	3
取り扱いについて.....	3
再生できるメディアについて.....	6
各部の働き.....	8
テレビと接続する.....	10
アンプと接続する.....	11
ネットワーク接続をする.....	13
設定をする.....	14

## 再生

ホーム画面について.....	16
再生する.....	16
HDMI CEC を使う.....	19
別の機器のコンテンツを楽しむ.....	20
再生設定をする.....	22

## 必要なとき

本機の設定を変える（初期設定）.....	24
故障かな！？.....	29
こんな表示が出たら.....	33
仕様.....	34
著作権など.....	38
保証とアフターサービス （よくお読みください）.....	40
さくいん.....	41

## 本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを (→ ○○) で示しています。
-  戻る : クリックすると、直前の表示に戻ります。
- 次のページに続く  : 説明が次のページに続きます。クリックして次のページもお読みください。

### 本機で Ultra HD ブルーレイの HDR 機能を楽しむには

Ultra HD ブルーレイを再生したときに、HDR 対応のメッセージが表示された場合はテレビの HDR 設定を確認してください。

- 1) 2015 年以降に発売された当社製 4K/HDR 対応のテレビをお使いの場合、テレビの HDR 設定を有効にしてください。（お使いのテレビによっては設定がない場合があります。詳しくは、テレビの説明書をご覧ください。）
- 2) 当社製以外の他社製 4K/HDR 対応のテレビをお使いの場合、テレビの説明書をご覧ください。
- 3) HDR 非対応のテレビの場合、メッセージが表示されますが、HDR 信号を変換した映像を再生します。

## 付属品を確認する

リモコン (1 個) N2QAYB001289  
 リモコン用乾電池 (2 個) 単 3 形乾電池  
 AC アダプター (1 個) TXH0009GA



- 付属品、別売品の品番は、2025 年 1 月現在のもので、変更されることがあります。
- 電源コードキャップ\*および包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。  
\*付属の AC アダプターによっては、電源コードキャップが無いものがあります。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品の一部および別売品は販売店でお買い求めいただけます。

パナソニックの家電製品直販サイトでお買い求めいただけるものもあります。  
 詳しくはパナソニックの家電製品直販サイトをご覧ください。

パナソニックグループのショッピングサイト  
<https://ec-plus.panasonic.jp/>



## 取り扱いについて

### 本機の設置場所

- アンプなどの熱源となる物の上に置かないでください。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しないでください。
- 「つゆつき」が起りにくい場所に設置してください。
- 不安定な場所に設置しないでください。
- 重い物を上に載せないでください。
- タバコの煙や、超音波式加湿器から噴霧された水分も故障の原因になりますのでお気をつけください。



### つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - 急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
  - 湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - 梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間）、電源を切ったまま放置してください。

### お手入れ

#### 本体およびリモコン

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

#### 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な再生ができなくなることがあります。

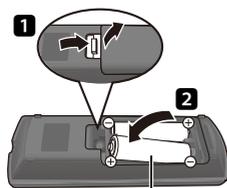
使用環境や使用回数にもよりますが、約 1 年に一度、レンズクリーナー（別売 RP-CL720A\*）でほこりなどの除去をお勧めします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- クリーニング中に音がかかりますが、故障ではありません。

\* ディーガ用として販売されていますが、本機でもご使用になれます。

### リモコンの準備

電池を入れてください。



単 3 形乾電池 (付属)

- $\oplus$   $\ominus$  を確認してください。
- 電池はマンガン乾電池、またはアルカリ乾電池をお使いください。
- 本機のリモコン受信部 (→ 8) に向けて、まっすぐ操作してください。

## ディスク

### 持ち方

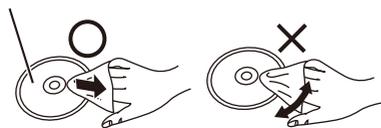


信号面には手を触れない

### ディスクが汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

信号面（光っている面）  
内側から外へ



レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない

- ディスククリーナーなどをご使用してください。
- ディスクが汚れている場合、再生ができないことがあります。

**破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。**

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ・ シールやラベルを貼らない。（ディスクに反りが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります）
  - ・ 印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ・ 傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ・ 以下のディスクを使わない。
    - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - 反っていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - ハート型など、特殊な形のディスク



### 保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光の当たるところ
- 静電気・電磁波の発生するところ（大切な記録内容が損傷する可能性があります）

使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースなどに収めて保管してください。不織布ケースに保管すると、ディスクが変形して読めなくなる場合があります。

## 本機を廃棄 / 譲渡するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報が記録されています。廃棄や譲渡などで本機を手放される場合は、お買い上げ時の設定に戻して、記録された情報を必ず消去してください。（→ 27「お買い上げ時の設定に戻すには？」）

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 製品を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

## 再生できるメディアについて

メディア	代表的なロゴ	メディアの種類	再生できる内容
BD		Ultra HD ブルーレイ <sup>*1</sup> ※2	市販またはレンタルソフト
		BD ビデオ	市販またはレンタルソフト
		BD-RE BD-RE DL	録画番組 <sup>*4</sup> 、 MKV、MP4、MPEG2、JPEG、3D 写真 (MPO) 、 AAC、AIFF、ALAC、DSD(DFF, DSF)、FLAC、 MP3、WAV、WMA
		BD-R <sup>*3</sup> BD-R DL	
DVD		DVD ビデオ	市販またはレンタルソフト
		DVD-R	録画番組 <sup>*4</sup> ※5※6、AVCHD、MKV、MP4、 MPEG2、JPEG、3D 写真 (MPO) 、 AAC、AIFF、ALAC、DSD (DFF, DSF)、FLAC、 MP3、WAV、WMA
		DVD-R DL	
		DVD-RW	録画番組 <sup>*4</sup> ※6、AVCHD
	—	+R/+RW/+R DL	
CD		音楽 CD	CD-DA 方式に準拠する市販またはレンタルソフト
	—	CD-R CD-RW	MKV、MP4、MPEG2、 JPEG、3D 写真 (MPO) 、 AAC、AIFF、ALAC、CD-DA 方式に準拠して記録 された音楽や音声、FLAC、MP3、WAV、WMA
USB	—	USB 機器 (4 TB まで)	AVCHD、AVCHD 3D、MKV、MP4、MPEG2、 JPEG、3D 写真 (MPO) 、 AAC、AIFF、ALAC、DSD (DFF, DSF)、FLAC、 MP3、WAV、WMA

※ 1 「Ultra HD ブルーレイを楽しむ」をご参照ください。(→ 16)

※ 2 特に記載がない場合、本書で BD ビデオと記載している内容は、Ultra HD ブルーレイを含みます。

※ 3 LTH type も再生できます。

※ 4 字幕情報が記録されている場合でも、字幕表示はできません。

※ 5 AVCREC を含みます。

※ 6 CPRM 方式を含みます。

- メディアやコンテンツについては、「再生できないディスク」(→ 6)、「ファイルフォーマット」(→ 31) もご参照ください。

## ■ 再生できないディスク

下記のディスクや前ページでご紹介していないディスクは再生できません。

- DVD-RAM
- DVD オーディオ
- SACD
- ビデオ CD、SVCD
- Photo-CD
- HD DVD
- BDXL

## ■ リージョンコード・番号について

本機は下記のリージョンコード（「ALL」を含む）の BD ビデオや DVD ビデオのディスクを再生できます。

例)           BD ビデオ   DVD ビデオ



- PAL 映像方式の DVD ビデオのディスクは再生できません。

## ■ ファイナライズ

DVD-R/RW/R DL や +R/+RW/+R DL、CD-R/RW を本機で再生するには、記録した機器でファイナライズを行う必要があります。ファイナライズの方法など、詳しくはお使いの機器の説明書をご覧ください。

## ■ BD ビデオ

本機は BD ビデオの高音質なサラウンド音声 (Dolby® Digital Plus、Dolby® TrueHD、DTS-HD® High Resolution Audio、DTS-HD® Master Audio) に対応しています。

## ■ 3D

本機と 3D 対応テレビをハイスピード HDMI ケーブルで接続すると、3D 映像と 3D 写真を再生できます。

### 無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

#### Cinavia の通告

この製品は Cinavia 技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピーが中断されます。Cinavia 技術に関する詳細情報は、<http://www.cinavia.com> の Cinavia オンラインお客様情報センターで提供されています。Cinavia についての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USA までがきを郵送してください。

## ■ 音楽 CD

CD-DA 規格に準拠していない CD（コピーコントロール CD など）は、動作および音質の保証はできません。

## ■ USB 機器

- USB 機器はホーム画面表示中に接続してください。
- すべての USB 機器との接続を保証するわけではありません。
- 本機は USB 機器を充電することはできません。
- 本機は FAT12、FAT16、FAT32、NTFS、ext4\* 形式でフォーマットされた USB 機器に対応しています。
- 本機の USB 端子はハイスピード USB（USB 2.0 準拠）に対応しています。
- 本機の USB 端子は FAT32、NTFS、ext4 形式でフォーマットされた HDD（ハードディスク）に対応しています。HDD が認識されない場合は、HDD に電源が供給されていない可能性があります。外部から電源を供給してください。



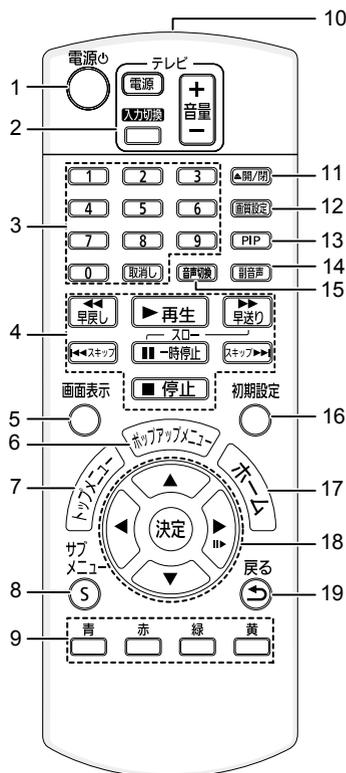
- 使用するメディア、記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作り方により再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- ディスク制作者の意図により、本書の記載どおりに動作しないことがあります。ディスクの説明書もご覧ください。

\* USB 接続した HDD のみ

## 各部の働き

### ■ リモコン

リモコン操作時に本機以外の当社製機器が反応するときは、リモコンモードを変えてください。(→ 25)



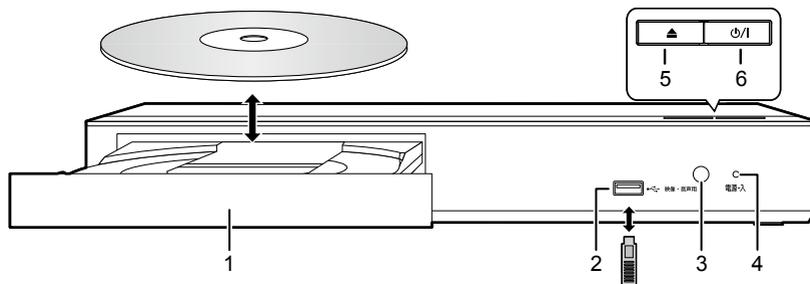
- 1 本機の電源を切（スタンバイ） / 入する
- 2 テレビ操作部  
本機のリモコンで当社製テレビの操作をすることができます。（他社製テレビを操作することはできません）
- 3 タイトル番号などを選ぶ / 数字を入力する  
[取消し]：入力した数値などを取り消す  
（初期設定の「視聴制限」でパスワード入力時など）
- 4 再生時の基本操作をする (→ 14)
- 5 再生状態を確認する (→ 15)
- 6 ポップアップメニューを表示する (→ 15)
- 7 トップメニューを表示する (→ 15)
- 8 サブメニューを表示する (→ 20)
- 9 カラーボタン  
画面上の指示に応じてさまざまな用途に使用する
- 10 リモコン送信部
- 11 ディスクトレイを開閉する (→ 8)
- 12 画質を選択する
- 13 副映像を入 / 切する
- 14 副音声を入 / 切する
- 15 音声を切り換える (→ 15)
- 16 本機の設定を変える
- 17 ホーム画面を表示する (→ 14)
- 18 選択および決定する
- 19 前の画面に戻る

### ■ HDMI CEC で有効なボタンについて

(→ 17、「テレビのリモコンで本機を操作」)

- 3 番号ボタン
- 4 基本操作ボタン
- 8 サブメニューボタン
- 9 カラーボタン
- 18 [▲] [▼] [◀] [▶] / [決定] ボタン
- 19 戻るボタン

## ■ 本体前面

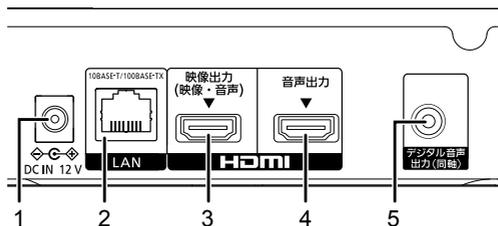


- |   |  |
|---|--|
| <p>1 ディスクトレイ</p> <p>2 USB 端子 (映像・音声用、5 V DC 500 mA)<br/>ハイスピード USB 2.0 対応</p> <p>3 リモコン受信部<br/>受信範囲 正面…約 7 m 以内<br/>左右…各約 30°<br/>上下…各約 20°</p> | <p>4 電源ランプ<br/>電源を入れたときに点灯し、エラーのときは点滅します。(→ 30)</p> <p>5 ディスクトレイを開閉する</p> <p>6 電源を切 / 入する [φ/ ] (→ 13)</p> |
|---|--|
- φ: スタンバイ



- メディアを正しい向きに挿入してください。
- 当社製機器と USB 接続ケーブルで接続した場合、接続機器側の設定を行ってください。
- ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出ししておくことをお勧めします。

## ■ 本体背面



- |   |   |
|---|---|
| <p>1 DC 入力端子 (→ 9)</p> <p>2 LAN 端子 (→ 12)</p> <p>3 HDMI 映像出力端子 (映像・音声) (→ 10)</p> | <p>4 HDMI 音声出力端子 (→ 10)</p> <p>5 デジタル音声出力端子 (同軸端子) (→ 10)</p> |
|---|---|

本製品 (付属品を含む) に表示の記号は以下を示しています。

- ~ AC (交流)
  - ≡ DC (直流)
  - クラス II 機器 (二重絶縁構造)

## テレビと接続する

本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル（別売）が必要です。

接続するテレビに合わせて HDMI ケーブルをご準備ください。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。

- 4K/60p をお楽しみになりたい場合は、18 Gbps 対応の HDMI ケーブルが必要です。
- 上記以外の場合は、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

- 接続時は各機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。各機器の説明書もご覧ください。（本機の AC アダプターは、すべての接続が終わったあと、接続してください）

- 本機はアナログ出力端子がありません。HDMI 端子のないテレビでは、ご利用になれません。

### 節電のために

- 電源を切った状態でも、電力を消費しています。（→ 31）長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜いておくことをお勧めします。

## ■ 4K 映像を楽しむ

本機を 4K 対応テレビに接続すると、4K 映像をお楽しみいただけます。

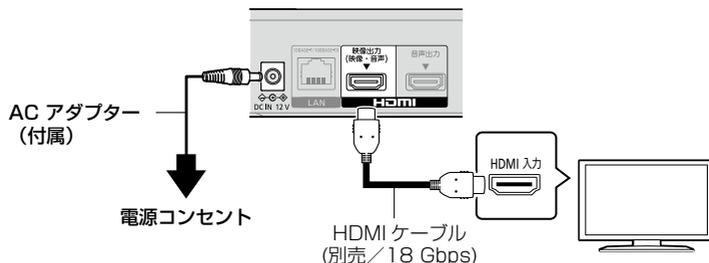
- 4K 対応テレビに接続した場合、「かんたん設置設定」をすると自動的に 4K/60p が設定されます。

（→ 13、25）

- Ultra HD ブルーレイを 4K/HDR で視聴するために、HDCP2.2、4K/60p (4:4:4)、Ultra HD ブルーレイ規格の HDR 信号に対応した機器の HDMI 端子に接続してください。

AC アダプターは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の AC アダプターを本機に使用しないでください。

### 4K 対応テレビで映像と音声を楽しむ場合



### 設定

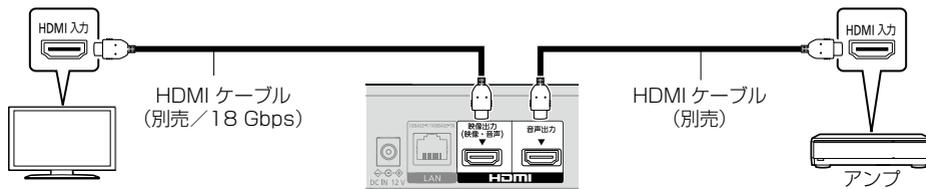
初期設定で以下のように設定してください。（→ 22）：

- 「映像出力端子設定」を「オート（映像のみ / 映像 + 音声）」に設定してください。（→ 22）

## アンプと接続する

### 4K 対応テレビで映像、アンプで音声を楽しむ場合

HDMI 音声出力端子を使用すると、より高音質でお楽しみいただけます。



#### 設定

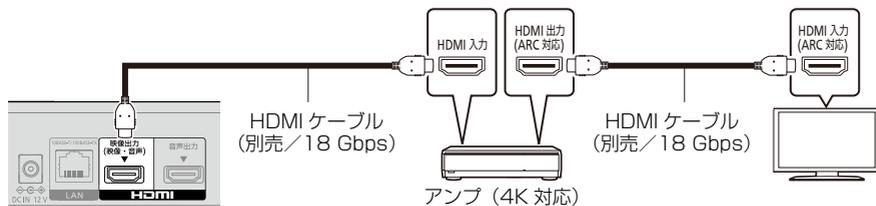
初期設定で以下のように設定してください。(→ 22) :

- 「映像出力端子設定」を「オート (映像のみ/映像+音声)」に設定してください。(→ 22)
- テレビで音声を楽しむ場合 : 「映像出力端子設定」を「映像+音声」に設定してください。(→ 22)



- HDMI 音声出力端子に接続した機器では、映像出力機能や HDMI CEC 機能は動きません。

### 4K 対応テレビで映像、4K 対応アンプで音声を楽しむ場合



#### 設定

初期設定で以下のように設定してください。(→ 22) :

- 「映像出力端子設定」を「オート (映像のみ/映像+音声)」に設定してください。(→ 22)



- ARC について : ARC 非対応のテレビまたはアンプ (HDMI 端子に「ARC 対応」の表示なし) を使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

### デジタル音声出力端子にアンプを接続し、音声を楽しむ場合



#### 設定

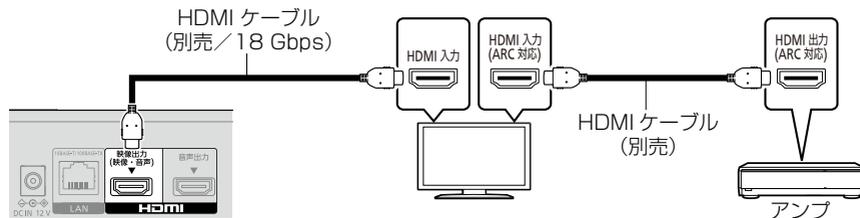
初期設定で以下のように設定してください。(→ 22) :

- 「映像出力端子設定」を「オート (映像のみ/映像+音声)」に設定してください。(→ 22)
- 「デジタル出力」で「HDMI 音声出力」を「切」に設定してください。(→ 23)

## 4K 対応テレビにアンプを接続する場合

本機を 3D または 4K 対応テレビに接続する場合、3D または 4K 映像を再生することができます。

- 音声は最大で 5.1ch になります。
- テレビとアンプを HDMI ケーブルで接続する場合は、テレビとアンプをつなぐ端子の双方が ARC に対応している必要があります。(→ 10「ARC について」)



## 設定

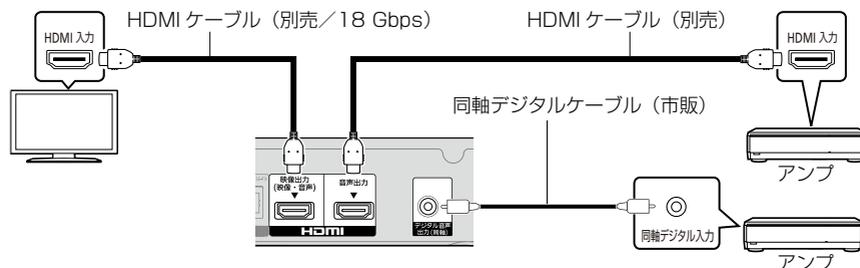
初期設定で以下のように設定してください。(→ 22) :

- 「映像出力端子設定」を「オート (映像のみ/映像+音声)」に設定してください。(→ 22)



- 高音質の音声をお楽しみになりたい場合は、「4K 対応テレビで映像、4K 対応アンプで音声を楽しむ場合」(→ 10)の接続方法で本機をご使用ください。

## HDMI 音声出力端子にアンプ、デジタル音声出力端子にアンプを接続し、4K 対応テレビで映像を楽しむ場合



## 設定

初期設定で以下のように設定してください。(→ 22) :

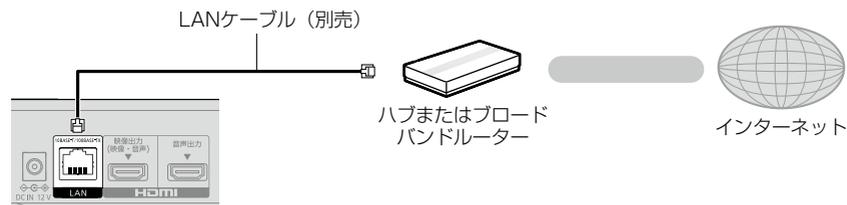
- 「映像出力端子設定」を「オート (映像のみ/映像+音声)」に設定してください。(→ 22)
- 同軸音声出力端子に接続したアンプで音声を楽しむ場合：  
「デジタル出力」で「HDMI 音声出力」を「切」に設定してください。(→ 23)
- テレビで音声を楽しむ場合：  
「映像出力端子設定」を「映像+音声」に設定してください。(→ 22)

## ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。

- ソフトウェアを更新する (→ 13)
- BD-Live を楽しむ (→ 16)
- 別の機器のコンテンツを楽しむ (ホームネットワーク) (→ 18)

さらに詳しい接続のしかたについては、接続した機器の説明書をご覧ください。



- 周辺機器に接続するときは、カテゴリ 5e (CAT5e) 以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- LAN ケーブル以外 (電話のモジュラーケーブルなど) を挿入しないでください。故障の原因になります。
- LAN ケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません。
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備 (有線 LAN ルーター、回線端末装置) に接続してください。

## 設定をする

下記項目の設定は、「初期設定」でいつでも設定することができます。(→ 24、25)

### かんたん設置設定をする

お買い上げ後初めて電源を入れると、基本的な設定を行う画面が表示されます。

#### 準備

テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換える(例：HDMI1 など)

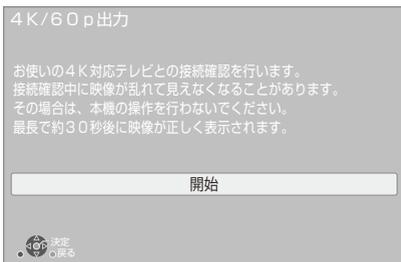
#### 1 電源の を押す

設定画面が表示されます。

#### 2 画面の指示に従い、設定を行う

#### ■ 4K/60p 対応テレビと接続時

4K/60p 対応テレビと接続している場合、4K/60p 映像の出力方法を設定できます。



画面の指示に従って、設定してください。



- 2K 対応テレビを接続して「かんたん設置設定」の設定を完了したあと、4K/60p 対応テレビにつなぎかえる場合は「4K/60p 出力」を「4K/60p (4:4:4)」または「4K/60p (4:2:0)」に設定してください。(→ 22)

### かんたんネットワーク設定をする

「かんたん設置設定」終了後、「かんたんネットワーク設定」を行うことができます。

#### 画面の指示に従い、設定を行う

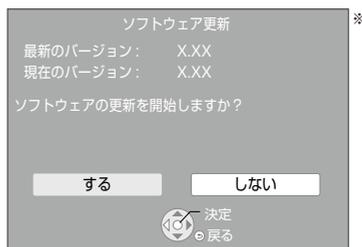


- ハブやルーターについてはそれぞれの説明書をご覧ください。
- 本機のネットワーク設定を行ったあと、お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、再度パソコンのネットワーク設定を行ってください。

## ソフトウェアの更新

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的にソフトウェアのバージョンを確認します。

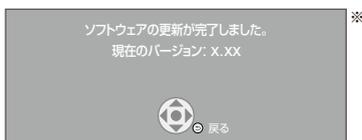
最新のソフトウェアになっていない場合、下記のメッセージが表示されます。



「する」を選択するとソフトウェアのダウンロードを開始します。

本機はソフトウェアの更新が完了するまで操作できません。また、故障の原因となりますので、AC アダプターをコンセントから抜いたり、本機の電源を切ったりしないでください。

更新が完了すると、本機は自動的に再起動し、下記の画面が表示されます。



- 下記のホームページから最新のソフトウェアをパソコンにダウンロードすることもできます。USB 機器にコピーしたあと、本機に接続することでソフトウェアを更新することができます。  
<https://panasonic.jp/bdplayer/support.html>  
ソフトウェアの更新が完了したあと、電源を入れ直してください。
- ソフトウェアの更新は「ソフトウェア更新」を選ぶことでいつでも実行できます。(→ 25)
- ソフトウェアのバージョンを確認するには「ソフトウェア情報」を参照してください。(→ 25)
- 更新は数分かかります。
- 本機をネットワークに接続して更新する場合は、お使いの環境により、さらに時間がかかったり、インターネット接続ができなくなる場合があります。

※ 「X.XX」はファームウェアのバージョンの数値を表しています。

## ホーム画面について

ホーム画面から本機の主な機能进行操作することができます。

### 準備

テレビの電源を入れ、本機を接続した入力に切り換える

1 を押して本機の電源を入れる

2 や [◀][▶] で項目を選ぶ

- 必要に応じて、[決定]や [▲][▼] で項目を選んでください。



### 動画 / 音楽 / 写真

ディスク	メディアを再生します。(→ 右記)
USB 機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>複数のコンテンツが記録されている場合は、コンテンツの種類やタイトルを選択してください。</li> <li>再生できるメディアについては(→ 5)</li> </ul>

### ホームネットワーク

お部屋ジャンプリンク	(→ 18)
メディアレンダラー	(→ 19)

### 設定

初期設定	本機の各種設定をします。(→ 22)
壁紙設定	ホーム画面の壁紙を変更します。
USB 管理	USB 機器内のデータ (BD ビデオデータのみ) を消去します。(→ 16)

ホーム画面を表示するには

[ホーム] を押す



- メディアによって、表示される項目は異なります。

## 再生する

### 1 メディアを入れる

メディアによっては再生が始まります。

### 2 項目を選び、を押す

必要に応じて、この手順を繰り返してください。



- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは **[■ 停止]** を押して停止させてください。
- 記録した機器でファイナライズをしていないディスクは再生できません。(→ 6)
- 以下の条件を満たしている場合、写真の画質にかかわらず 4K 画質で写真を再生します。
  - 本機を 4K 対応テレビに接続している
  - 「出力解像度」を「オート」または「4K」に設定している (→ 22)
- 3D 再生時は、4K で出力されません。
- パソコンでメディアにドラッグ&ドロップやコピー&ペーストした AVCHD や MPEG2 は再生することができません。
- Dolby Atmos® や DTS:X® に対応した BD ビデオを楽しむには (→ 23)

## 再生中の操作

メディアやコンテンツによっては機能しないものもあります。

### 停止

**[■ 停止]** を押す

### 続き再生メモリー機能

停止位置を記憶します。

**[▶ 再生]** を押すと停止位置から再生が始まります。

- BD ビデオ、DVD ビデオ、録画番組：電源を切っても停止位置を記憶します。電源「切」状態やホーム画面表示状態で **[▶ 再生]** を押すと停止位置から再生が始まります。
- 記録された停止位置はメディアを取り出すと、解除されます。
- BD-J が含まれる BD ビデオや BD/DVD ビデオのメニュー画面では、続き再生メモリー機能が働きます。

詳細については下記をご参照ください。

<https://panasonic.jp/support/bd/>

### 一時停止

**[||一時停止]** を押す

- もう一度押す、または **[▶ 再生]** を押すと、再生を再開します。

## 早送り・早戻し / スロー再生

早送り・早戻し

再生中に または を押す

- Ultra HD ブルーレイ、MKV、MP4、MPEG2：音声は出ません。

スロー再生

一時停止中に を押す

- MKV、MP4、MPEG2：無効

押すごとに、または押したままにすると、速度が速くなります。(5段階)

- MP3/その他の音楽：早送り・早戻しは1段階の速度のみ働きます。音声は出ません。
- **[▶ 再生]** を押すと、通常再生に戻ります。

## スキップ

再生中または一時停止中に または を押す

タイトル、チャプター、またはトラックを飛び越します。

## コマ送り

一時停止中に を押す

- 押すごとに1コマずつ送ります。
- 押したままにすると連続してコマ送ります。
- **[▶ 再生]** を押すと、通常再生に戻ります。
- MKV、MP4、MPEG2：無効

## 音声を切り換える

を押す

音声チャンネルや音声言語などを変更することができます。

## リピート

繰り返し再生ができます。(→ 20)

## メニューを表示する

**[ポップアップメニュー]** または **[トップメニュー]** を押す

- 項目を選び、**[決定]** を押してください。

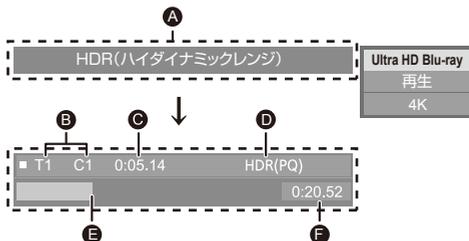
## 再生状態を確認する

再生中に **[画面表示]** を押す

現在の再生状態の情報を表示します。押すごとに切り換わります。

- メディアやコンテンツによっては、画面の表示が異なり、メニュー画面などが表示されない場合があります。

例) Ultra HD ブルーレイ



- **A** HDR (ハイダイナミックレンジ) の映像を再生時に表示 - 「ダイナミックレンジ変換出力」：  
通常のダイナミックレンジの映像信号へ変換時
- **B** T: タイトル、P: プログラム、C: チャプター
- **C** 経過時間
- **D** HDR (ハイダイナミックレンジ) ビデオの方式
- **E** 現在の再生位置
- **F** 総再生時間

例) JPEG

撮影日	2016年12月11日	1 / 26
写真サイズ	500 x 375	
メーカー		
撮影機器		

## Ultra HD ブルーレイを楽しむ

本機では、Ultra HD ブルーレイディスクの再生をお楽しみいただけます。

### 準備

- 4K/HDR で視聴するために、18 Gbps 対応の HDMI ケーブルで HDCP2.2<sup>\*1</sup>、4K/60p(4:4:4)、Ultra HD ブルーレイ規格の HDR 信号に対応する機器 (テレビなど) や HDMI 端子に接続してください。(→ 9)

著作権保護のために、ディスクによっては本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。



- HDCP2.2<sup>\*1</sup> に対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で、HDR 信号をダイナミックレンジ変換<sup>\*2</sup>して出力します。また、ディスクによっては正しく再生できない場合があります。
- 4K/60p (4:2:0/8bit) まで対応の機器や端子に接続した場合、60p 素材の再生は HDR 信号をダイナミックレンジ変換<sup>\*2</sup>して出力します。
- 4K に対応していない機器や端子に接続した場合、2K 解像度で、HDR 信号をダイナミックレンジ変換<sup>\*2</sup>して出力します。
- HDR に対応していない機器や端子に接続した場合、HDR 信号をダイナミックレンジ変換<sup>\*2</sup>して出力します。また、ディスクによっては 2K 解像度での出力、または正しく再生ができない場合があります。

- ※ 1 HDCP とは不正コピー防止技術の 1 つです。2.2 はバージョンを表します。
- ※ 2 ダイナミックレンジ変換とは、HDR 映像信号を、HDR 入力に対応していないテレビに適した映像信号に変換する機能です。

## 3D 映像 / 写真を楽しむ

### 準備

本機と 3D 対応テレビを接続する (→ 9)

- テレビ側で必要な準備を行ってください。
- 表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。
- 3D 設定 (→ 21、24)



- 接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D 映像に切り換わることがあります。接続している機器側の 3D 設定をご確認ください。
- 3D 映像は、「出力解像度」(→ 22) や「24p 出力」(→ 22) の設定どおりに出力されない場合があります。
- 「写真」から 3D 写真を再生する場合は、「3D」から選んでください。(「2D」からは 2D 再生になります) 「2D」および「3D」が表示されない場合は、再生一覧の表示を切り換えるためにリモコンの【青】を押してください。

## BD-Live を楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続してさまざまな機能を楽しむことができます。BD-Live 機能を使う場合、USB 機器の接続が必要です。

### 1 ネットワーク接続と設定をする (→ 12、13)

### 2 1 GB 以上の残量がある USB 機器を接続する

- USB 機器はローカルストレージとして利用します。

### 3 ディスクを入れる

### ■ USB 機器内の BD ビデオデータの消去

ホーム画面で「USB 管理」(→ 14) を選び、「BD ビデオデータ消去」を選び、【決定】を押す。



- お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。ディスクに添付の説明書やホームページをご覧ください。
- ディスクによっては、「BD-Live インターネット接続」の設定を変更する必要があります。(→ 25)

## スライドショーを見る

写真のスライドショー再生と再生時の設定を行うことができます。

### 1 メディアを入れる

### 2 「写真を見る」を選ぶ

### 3 項目を選び、を押す

下記の項目が設定できます。

スライドショー開始	スライドショーを開始します。一定の時間間隔で 1 枚ずつ写真を表示します。
表示間隔	表示間隔を変更します。
表示効果	写真切り換え時の効果を選択します。
リピート再生	スライドショーの繰り返し再生を設定します。



- “” の表示になっている写真は、本機では再生できません。

## HDMI CEC を使う

本機は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) に対応しています。

本機を HDMI CEC 対応機器と接続してお使いください。各機器の詳しい操作については、それぞれの説明書をご覧ください。

- HDMI CEC に対応するためには、HDMI ケーブルを HDMI 映像出力端子に接続してください。  
(→ 9)

### 準備

- ① 「HDMI CEC 制御」を「入」にする (→ 25)  
(お買い上げ時の設定は「入」です)
- ② 接続した機器側 (テレビなど) で、HDMI CEC が働るように設定する
- ③ すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する  
(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

## 入力自動切換え / 電源オン連動

本機で再生を開始すると、テレビは自動的に入力を切り換え、プレーヤーの画面を表示します。さらにテレビの電源が切れている場合は、自動的にテレビの電源が入ります。

## 電源オフ連動

リモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機を含め HDMI CEC で接続している機器はすべて自動的に電源が切れます。

## テレビのリモコンで本機を操作

本機のリモコンと同じようにテレビのリモコンを使い、本機を操作できます。(→ 7)



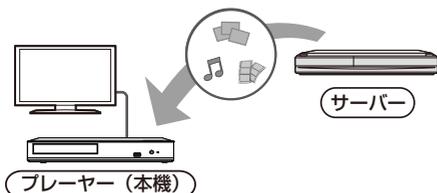
- 本機は HDMI CEC に対応していますが、すべての HDMI CEC 対応機器との動作保証をしているわけではありません。

## 別の機器のコンテンツを楽しむ

### ディーガなどのコンテンツを再生する（お部屋ジャンプリnk）

ネットワーク接続された機器（ディーガや DLNA 対応機器など）のコンテンツを楽しむことができます。

- 再生可能ファイルフォーマットについては（→ 31）



当社製ディーガや DLNA 対応機器などに保存された映像や写真などを、本機から操作して再生することができます。

- コンテンツが記録された機器をサーバーといいます。
- 接続する機器をネットワーク接続する必要があります。
- お部屋ジャンプリnk対応機器などの情報は当社ホームページをご覧ください。  
[https://panasonic.jp/support/r\\_jump/](https://panasonic.jp/support/r_jump/)  
 (2019年4月現在)

#### 準備

- ① ネットワーク接続と設定をする（→ 12、13）
- ② 接続機器のホームネットワーク設定をする
  - 本機と接続した機器側で、本機をアクセスできるようにしてください。
  - 本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、右記の手順 1～4 の操作を行ってください。
  - ディーガなど接続機器の設定や操作方法の詳細については、各機器の説明書をご覧ください。

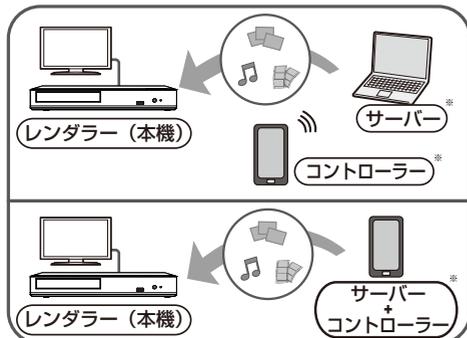
- 1  を押す
- 2 「ホームネットワーク」を選ぶ
- 3 「お部屋ジャンプリnk」を選ぶ
  - リモコンの【青】を押すと、一覧を更新することができます。
- 4 ディーガなどを選び、 を押す
- 5 項目を選び、 を押す
  - コンテンツによっては【サブメニュー】を押すと便利な機能をお使いいただけます。

お部屋ジャンプリnkを終了するには  
【ホーム】を押す

## DMC から操作してサーバーのコンテンツを再生する

スマートフォンやタブレットなどの DMC（デジタルメディアコントローラー）対応機器を操作して、レンドラー（本機）上でネットワークに接続されたサーバーのコンテンツを再生することができます。

### 使用例)



※ DMC と互換性を持つソフトウェアをインストールしてください。

### 準備

18 ページの準備①、②の操作を行ってください。

1  を押す

2 「ホームネットワーク」を選ぶ

3 「メディアレンドラー」を選ぶ

4 DMC 対応機器を操作する

メディアレンドラーを終了するには  
[ホーム] を押す



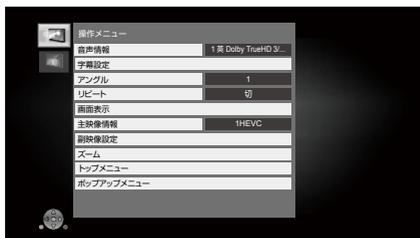
- お使いの機器や接続環境によって、データ転送が遅くなる場合があります。
- コンテンツや接続機器によっては、再生できないことがあります。
- 画面上で灰色表示されている項目は、本機で再生できません。

# 再生設定をする

再生方法のさまざまな設定をすることができます。設定が可能な項目はコンテンツや機器の状態によって異なります。

## 1 サブメニューを押す

例) Ultra HD ブルーレイ



## 2 項目を選び、設定を変更する

設定を終了するには  
[サブメニュー]を押す

言語についての情報は：(→ 32)

### 操作メニュー

#### ■ 音声情報

音声属性を表示したり、音声や言語を選ぶことができます。

#### ■ 音声チャンネル

音声 (L/R) を切り換えます。

#### ■ 字幕情報

#### ■ 字幕設定

字幕の設定を変更します。

#### ■ アングル

アングルを選びます。

#### ■ リピート

繰り返し再生の方法を選びます。

- チャプターやプレイリスト、ディスク全体などの各種リピート再生が可能です。メディアにより可能なリピートの種類は異なります。
- 取り消すには、「切」を選んでください。

#### ■ シャッフル

順不同で再生します。

#### ■ スライドショー開始

スライドショーを開始します。

#### ■ 画面表示

再生状態を表示します。

#### ■ 右 90° 回転

#### ■ 左 90° 回転

写真を回転します。

#### ■ 壁紙登録

ホーム画面の壁紙を設定します。(→ 14)

#### ■ 映像情報

映像の記録方法を表示します。

#### ■ 主映像情報

主映像の記録方法を表示します。

#### ■ 副映像設定

映像情報	映像の入 / 切を選びます。映像の記録方法を表示します。 ● 早送り・早戻し、またはスロー再生中は、主映像のみ再生されます。
音声情報	音声や言語の入 / 切を選びます。

#### ■ ズーム

動画や写真を拡大表示します。

- BD-J が含まれる BD ビデオでは、ズーム機能が働きません。

#### ■ トップメニュー

トップメニューを表示します。

#### ■ ポップアップメニュー

ポップアップメニューを表示します。

#### ■ メニュー

メニューを表示します。

## 映像設定

### ■ ダイナミックレンジ変換調整

HDR（ハイダイナミックレンジ）入力に対応していないテレビと接続したときに、HDR の映像信号を、設定値に応じて通常のダイナミックレンジに変換して出力します。設定値を小さくすると、HDR 映像の明暗比がより忠実に再現されますが、全体的に画面が暗くなります。明るくする場合は、設定値を大きくしてください。

### ■ 画質選択

再生時の画質を選びます。

- 「ユーザー」を選ぶと、さらに「詳細画質設定」を設定できます。

### ■ 詳細画質設定

画質の詳細な設定を行うことができます。

### ■ プログレッシブ

プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- 「オート」でぶれが生じる場合は、「ビデオ」を選んでください。

### ■ 映像設定を標準に戻す

映像設定をお買い上げ時の設定に戻します。

## 3D 設定

### ■ 出力方式

オリジナル	元の映像で表示します。
サイドバイサイド	2 画面表示の映像を 3D 再生します。

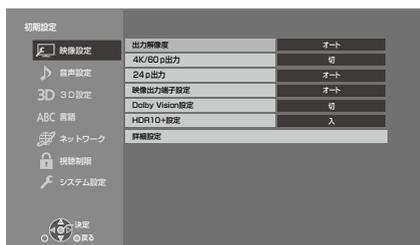
### ■ 画面表示の飛び出し量

3D 再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。

# 本機の設定を変える（初期設定）

必要に応じて設定を変更してください。設定内容は、本機の電源を切っても保持されます。

## 1 ホーム画面表示中に を押す



## 2 項目を選び、設定を変更する

画面を消すには  
【ホーム】を押す

### 映像設定

#### ■ 出力解像度

接続した機器が対応している項目には、画面上に「\*」が表示されます。「\*」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。

- 「オート」\*<sup>1</sup> を選ぶと、接続した機器に適した解像度を自動で選びます。

#### ■ 4K/60p 出力

4K\*<sup>2</sup>/60p 対応テレビと接続している場合、自動で 4K/60p 出力します。

- 「出力解像度」を「オート」や「4K」に設定している場合のみ有効です。
- 4K/60p (4:4:4/8bit) または 4K/60p (4:2:2/12bit) に対応しているテレビと接続する場合、「4K/60p (4:4:4)」に設定してください。HDMI ケーブルが 18 Gbps に対応していない場合は、映像が正常に出力されません。
- 4K/60p (4:2:0/8bit) に対応しているテレビと接続する場合、「4K/60p (4:2:0)」に設定してください。

#### ■ 24p 出力

BD ビデオの映画など 24p\*<sup>3</sup> で記録された素材の再生時に、24p 出力します。

- 4K/24p 対応テレビと接続している場合、「出力解像度」を「オート」または「4K」に設定時に 4K/24p で出力されます。
- 1080/24p 対応のテレビと接続している場合、「出力解像度」を「オート」または「1080i」、「1080p」に設定時に 1080/24p で出力されます。
- 24p で出力したときに、映像が乱れる場合は、「切」にしてください。

#### ■ 映像出力端子設定

HDMI 映像出力端子からの音声を出力するかどうかを設定をします。

- アンプを HDMI 音声出力端子に接続している場合、「オート（映像のみ／映像＋音声）」に設定していると、テレビから音声が出力されない場合があります。その場合は、「映像＋音声」に設定してください。

#### ■ Dolby Vision 設定

Dolby Vision 機能の有効 / 無効の設定ができます。「入」に設定すると、以下の場合に Dolby Vision 機能をお楽しみいただけます。

- － Dolby Vision 対応機器（テレビなど）と接続時（→ 9）
- － Dolby Vision 対応ディスクを再生時
- Dolby Vision で出力中は、「映像設定」（→ 22）は無効になります。
- 以下のすべての条件を満たしている場合、Dolby Vision と HDR10+ の両方が有効になります。その場合、HDR10+ での再生が優先されます。
  - － 再生するメディアやコンテンツが Dolby Vision と HDR10+ の両方のフォーマットで記録されている場合
  - － 接続機器（テレビなど）が Dolby Vision と HDR10+ の両方に対応している場合
  - － 「Dolby Vision 設定」と「HDR10+ 設定」が両方「入」に設定されている場合

#### ■ HDR10+ 設定

HDR10+ の機能の有効 / 無効の設定ができます。

「入」に設定すると、以下の場合に HDR10+ 機能をお楽しみいただけます。

- － HDR10+ 対応機器（テレビなど）と接続時（→ 9）
- － HDR10+ 対応ディスクを再生時
- HDR10+ で出力中は、「映像設定」（→ 22）は無効になります。

■ 詳細設定

[決定] を押して、さらに設定します。

➢ カラースペース

映像信号のカラースペース変換方法を選びます。

➢ Deep Color 出力

Deep Color 対応テレビと接続時に使用する出力方法を設定します。

➢ HDR/色域出力

HDR (ハイダイナミックレンジ) 素材の出力方法を設定します。

➢ 25p/50p 出力

25p/50p 対応テレビと接続時、Ultra HD ブルーレイ/ブルーレイディスクの 25p/50p/50i の素材を 25p/50p で出力するかを設定します。

- 「切」に設定すると、30p/60p に変換して出力します。

➢ コンテンツタイプフラグ

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生するコンテンツによってテレビが最適な方法に調整し出力します。

- ※ 1 お使いのテレビの最高解像度が表示されます。
- ※ 2 横 4000 x 縦 2000 ピクセル前後の高解像度の映像・表示技術です。
- ※ 3 24 コマ / 秒で記録されたプログレッシブ (順次走査) 方式です。BD ビデオの映画ソフトは、多くが映画フィルムに合わせて 24p で記録されています。

音声設定

■ 音声のダイナミックレンジ圧縮

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD の音声に有効です。

- 「オート」を選ぶと、Dolby TrueHD のときにコンテント意図に従います。

■ デジタル出力

[決定] を押して、さらに設定します。

➢ Dolby Audio

➢ DTS/DTS-HD

➢ AAC

➢ DSD 出力モード

音声の出力信号を選びます。

- 上記のデコーダーを搭載していない機器と接続する場合は、「PCM」または「切」を選んでください。本機でデコードした音声を接続機器へ伝送します。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーが破損するおそれがあります。
- 「DSD 出力モード」の設定は、HDMI ケーブルで接続されている場合に有効です。
- DSD 11.2 MHz フォーマットの場合、「DSD 出力モード」の設定に関係なく、HDMI 出力端子および同軸端子から PCM で出力されます。

➢ BD ビデオ副音声・操作音

主音声と副音声をミックスして出力します。(操作音を含む)

- 「切」を選ぶと、操作音・副音声は出力されません。

➢ HDMI 音声出力

音声を HDMI 出力端子から出力するかどうかを設定します。

- HDMI 出力端子で音声を楽しむ場合は、「入」に設定してください。同軸音声出力端子で音声を楽しむ場合は、「切」に設定してください。「映像出力端子設定」の設定に関係なく、HDMI 出力端子からは、音声が出なくなります。



- Dolby Atmos<sup>®</sup> や DTS:X<sup>®</sup> に対応した BD ビデオを楽しむには上記音声出力に対応した AV アンプなどに HDMI ケーブルで接続し、以下のように設定してください。
  - Dolby Audio: 「Bitstream」
  - DTS/DTS-HD: 「Bitstream」
  - BD ビデオ副音声・操作音: 「切」

Dolby Atmos はドルビーラボラトリーズの商標です。

## ■ 同軸ダウンサンプリング

同軸端子からダウンサンプリングして音声出力をするときの最大サンプリング周波数を設定します。

- 接続機器が対応する周波数に設定してください。
- BD ビデオの再生中は、以下の設定にかかわらず 48 kHz に変換されます。
  - － サンプリング周波数が 192 kHz 以上の信号
  - － 著作権保護処理がされているディスク
  - － 「BD ビデオ副音声・操作音」が「入」

## ■ ダウンミックス

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

- 2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能がある機器に接続するときは、「ドルビーサラウンド」を選んでください。
- 「デジタル出力」が「Bitstream」のときは、ダウンミックスの効果はありません。
- 以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
  - － AVCHD 再生時
  - － BD ビデオ：副音声や操作音を含んだ再生時

## ■ DTS Neo:6

2ch (2.1ch) 音声を 7ch (7.1ch) に拡張して出力します。

- 以下の条件を満たしている場合に有効です。
  - － AV アンプなどに HDMI ケーブルで接続されている
  - － 96 kHz 以下の音声を出力する
  - － PCM 以外の音声は「デジタル出力」が「PCM」に設定されている

## 3D 設定

### ■ 3D ディスクの再生方法

3D ディスクの再生方法を選びます。

### ■ 3D 撮影ビデオの出力方法

3D 番組の出力方法を選びます。

### ■ 3D 再生時の注意表示

3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

## 言語

### ■ 音声言語

再生時の音声言語を選びます。

- 「オリジナル」を選ぶと、ディスクの最優先言語で再生します。
- 選択された言語がディスクに記録されていない場合やディスクのナビゲーションの作り方によっては、選択された言語と異なる言語で再生される場合があります。
- 「その他 \*\*\*\*」を選んだ場合、言語番号 (→ 32) を入力してください。

### ■ 字幕言語

再生時の字幕言語を選びます。

- 「オート」を選ぶと、「音声言語」で選んだ言語と異なる言語の音声で再生された場合のみ、「音声言語」で選択されている言語の字幕を表示します。
- 選択された言語がディスクに記録されていない場合やディスクのナビゲーションの作り方によっては、選択された言語と異なる言語で再生される場合があります。
- 「その他 \*\*\*\*」を選んだ場合、言語番号 (→ 32) を入力してください。

### ■ メニュー言語

ディスクメニューの表示言語を選びます。

- 「その他 \*\*\*\*」を選んだ場合、言語番号 (→ 32) を入力してください。

## ネットワーク

### ■ かんたんネットワーク設定 (→ 13)

### ■ ネットワーク通信設定

ネットワーク関連の設定を個別に設定することができます。

[決定] を押して、さらに設定します。

#### ➤ IP アドレス / DNS 設定

ネットワークの接続状態を確認したり、IP アドレスや DNS の設定を行うことができます。

[決定] を押して、さらに設定します。

#### ➤ プロキシサーバー設定

プロキシサーバーの接続状態を確認したり、設定したりすることができます。

[決定] を押して、さらに設定します。

➤ リモート機器設定 (➔ 19)

[決定] を押し、さらに設定します。

**本機の名称**

接続機器側で表示される本機の名称を設定します。

**アクセス許可方法**

自動	本機にアクセスしたすべての機器の接続を自動で許可します
手動	本機にアクセスした機器の接続を個別に許可するかどうかを設定します

**機器一覧**

「アクセス許可方法」で「手動」を選択している場合、表示された機器の登録および登録の解除をすることができます。

- 16台まで登録できます。

➤ BD-Live インターネット接続 (➔ 16)

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

- 「有効 (制限付き)」が選ばれていると、BD-Live コンテンツ制作者の証明書が含まれているときのみにインターネットへの接続を許可します。

**視聴制限**

入力した暗証番号は、以下の設定で共通です。暗証番号は忘れないでください。

■ DVD-Video の視聴制限

DVD ビデオの視聴制限ができます。

■ BD-Video の視聴可能年齢

BD ビデオ (Ultra HD ブレーレイも含む) の視聴可能な下限年齢を設定できます。

**システム設定**

■ **かんたん設置設定**

本機の基本的な設定を行います。

■ **TV 設定**

[決定] を押し、さらに設定します。

➤ **テレビ画面の焼き付き低減機能**

テレビ画面の焼き付きを低減するための設定です。

- 「入」に設定時、再生一覧画面表示中に 5 分以上操作を行わないと、自動的にホーム画面に切り換わります。
- 再生や一時停止などの操作中は働きません。

➤ **画面表示動作 [オート]**

操作時の表示をテレビ画面に自動で表示するかどうかを設定します。

➤ **HDMI CEC 制御**

HDMI CEC に対応した機器と接続したときに、連動操作の設定をします。

- この機能を使わないときは、「切」を選んでください。

■ **クイックスタート**

電源「切」状態からの起動を高速化します。

- 「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて待機時消費電力 (➔ 31) が増えます。

■ **リモコンモード**

リモコン操作時に本機以外の当社製機器が反応するとき、リモコンモードを変えてください。

■ **ソフトウェア更新 (➔ 13)**

[決定] を押し、さらに設定します。

➤ **ソフトウェアの自動更新確認**

本機をネットワーク接続している場合、本機の電源を入れたときに自動的にソフトウェアのバージョンを確認することができます。

➤ **ソフトウェア更新の実行**

手動でソフトウェアの更新ができます。

■ システム情報

[決定] を押して、さらに設定します。

---

➤ ライセンス

本機が使用しているソフトウェア情報を表示します。

---

➤ ソフトバージョン情報

本機のソフトウェアのバージョン情報を表示します。

---

■ 初期設定リセット

ネットワークやリモコン、視聴制限などの設定を除き、初期設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。

---

## 故障かな！？

故障かな？と思ったら以下の項目を確かめてください。

それでも直らないときや、症状が載っていないときはお買い上げの販売店にご連絡ください。

### ■ 次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音
- 早送り・早戻し時の映像の乱れ
- 電源切/入時の音
- 3D ディスク入れ替え時の画面の乱れ

### ■ 本機が操作を受け付けなくなったときは

電源プラグをコンセントから抜き、約 1 分後再びコンセントに差し込んでください。

### ■ 本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするとき、電源を切って電源プラグを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

### ■ ソフトウェアを更新していますか？

映画の再生時などの動作を改善するために、ソフトウェアは随時更新されています。(→ 13)

### ■ ディスクが取り出せないときは

- ① 本機の電源「入」状態で、リモコンの【決定】、【青】、【黄】を同時に5秒以上押す  
— 電源ランプが点滅を始め、テレビ画面に「00 RET」が表示されます。
- ② テレビ画面に「06 FTO」が表示されるまでリモコンの【▶】(右)を数回押す
- ③ 【決定】を押す

## いろいろな操作

基本設定以外の設定をお買い上げ時の状態に戻すには？

- 「初期設定リセット」で「する」を選びます。(→ 26)

お買い上げ時の設定に戻すには？

- 下記の操作をすると、すべての項目がお買い上げ時の状態に戻ります。
  - ① 本機の電源「入」状態で、リモコンの【決定】、【青】、【黄】を同時に5秒以上押す  
— 電源ランプが点滅を始め、テレビ画面に「00 RET」が表示されます。
  - ② テレビ画面に「08 FIN」が表示されるまでリモコンの【▶】(右)を数回押す
  - ③ 【決定】を5秒以上押す

自動的に電源が切れる

- 再生をしていない状態(一時停止中、メニュー画面表示中、写真表示中などを含む)で約 20 分以上操作を行わないと、メディアによっては節電のため自動的に電源が切れます。

リモコンが働かない

- 本機とリモコンのリモコンモードが異なっていないか。電池を交換すると、リモコンモードが変更される場合があります。その場合は設定をし直してください。  
本機の【**○/1**】を押して電源「入」状態にし、リモコンボタンを押したときに、テレビ画面に表示される「リモコン 0」を確認してください。  
表示された数字「0」を押しながら【決定】を5秒以上押し続けたままにしてください。

テレビの電源を入れたとき、テレビ放送が映らない

- 「クイックスタート」が「入」の場合、テレビの設定などによってこの現象は起こります。
- テレビによっては HDMI ケーブルを別の HDMI 入力端子に差し換えたり、テレビの HDMI 自動切替などの設定を変えると、この現象を防ぐことができます。

## 暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい

- 視聴制限の内容をお買い上げ時の状態に戻してください。
- ① 本機の電源「入」状態で、リモコンの**【決定】**、**【青】**、**【黄】**を同時に5秒以上押す
  - －電源ランプが点滅を始め、テレビ画面に「00 RET」が表示されます。
- ② テレビ画面に「03 VL」が表示されるまでリモコンの**▶**(右)を数回押す
- ③ **【決定】**を押す

## テレビ画面が黒くなる

- 下記の場合、HDMI 認証動作のために一時的に画面が暗くなります。
  - －「24p 出力」が「オート」の場合
  - －2D と 3D 映像の切り換え時
  - －ホーム画面などの他の画面を表示することで、4K 再生が止まる場合

## USB 接続を正しく認識しない

- USB を抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。
- 以下のものを使って本機に USB 機器を接続した場合は、認識しないことがあります。
  - －USB ハブ
  - －USB 延長ケーブル
- 本機に USB 接続の HDD を接続する場合、HDD に付属の USB ケーブルをご使用ください。
- USB 接続の HDD が認識されない場合は、HDD に電源が供給されていない可能性があります。外部から電源を供給してください。

## 映像

### 本機からの映像がテレビに映らない、または乱れる

- 「出力解像度」でテレビが対応していない解像度を選んでいませんか。下記の操作をすると、設定を解除できます。
- テレビなどの接続機器を変更していませんか。下記の操作をすると、設定を解除できます。
- ① 本機の電源「入」状態で、リモコンの**【決定】**、**【青】**、**【黄】**を同時に5秒以上押す
  - －電源ランプが点滅を始めます。
- ② リモコンの**【8】**、**【青】**を同時に5秒以上押すもう一度設定する (➔ 22)
  - －「4K/60p 出力」が「切」に設定されます。もう一度設定し直してください。(➔ 22)
  - －Dolby Digital Plus または Dolby TrueHD、DTS-HD<sup>®</sup> の音声適切に出力されなくなった場合は、「初期設定リセット」(➔ 26)で「する」を選んでから、正しく設定し直してください。
- 再生するコンテンツは再生可能なフォーマットですか？ (➔ 31)
- 「3D ディスクの再生方法」が「3D 再生」に設定されている場合、接続方法によっては映像が正常に出力されない場合があります。一度ディスクを取り出してから「再生時選択」を選び直し、「3D ディスク再生時に表示される設定画面で「2D 再生」を選んでください。(➔ 24「3D ディスクの再生方法」)
- 4K 出力時、HDMI ケーブルによっては映像が乱れる場合があります。18 Gbps 対応の HDMI ケーブルをお使いください。

### 4K またはハイビジョン映像で出力されない

- 「出力解像度」を正しく設定してください。(➔ 22)
- HDMI ケーブルや機器の接続、テレビの映像入力の互換性を確認してください。4K で映像を出力する場合、HDMI ケーブルを接続機器の 4K 対応端子に接続してください。(➔ 9)
- 接続中の 4K 対応テレビで 4K/60p の映像をお楽しみいただく場合、「4K/60p 出力」を「4K/60p (4:4:4)」または「4K/60p (4:2:0)」に設定してください。(➔ 22)
- 「4K/60p 出力」が「4K/60p (4:4:4)」に設定されている場合、接続中の HDMI ケーブルが 18 Gbps が確認してください。(➔ 9、22)
- 4K 映像が接続中の 4K 対応テレビから出力されない場合、「4K/60p 出力」を「4K/60p (4:4:4)」または「4K/60p (4:2:0)」に設定してください。(➔ 22)
- 4K(60p) 4:2:0 まで対応しているテレビを接続している場合、または「4K/60p 出力」を「4K/60p (4:2:0)」に設定している場合、4K(60p) で記録された素材は、4K/HDR で出力することはできません。24p で記録された素材を再生する場合は、「24p 出力」を「オート」に設定してください。(➔ 22)

### HDR 対応テレビに接続しているのに、HDR でビデオを出力できない

- HDR に対応していない機器や端子に接続した場合、HDR 信号をダイナミックレンジ変換して出力します。また、ディスクによっては 2 K 解像度での出力、または正しく再生できない場合があります。(→ 16)
- 素材によっては、ご使用のテレビで HDR 出力できない場合があります。「HDR/色域出力」を「HDR/BT.2020 (オート)」に設定してください。(→ 23)

### 3D 映像が出力されない

- 3D 対応の機器に接続してください。(テレビやアンプなど)
- 本機とテレビの間に 3D 非対応のアンプを接続している場合、3D 映像は出力されません。(→ 11)
- 本機とテレビの 3D 設定を確認してください。(→ 16)

### 3D 映像が正しく 2D 出力されない

- 「3D ディスクの再生方法」で「再生時選択」を選んで、3D ディスク再生時に表示される設定画面で「2D 再生」を選んでください。(→ 24 「3D ディスクの再生方法」)
- 3D をお楽しみいただけるディスクや、サイドバイサイド (2画面構成) などの放送を記録したディスクは、テレビ側の設定に従って再生されます。

### 映像の上下左右に黒帯がついて再生される画面サイズがおかしい

- テレビ側で画面サイズ比を変更してください。

### 画面の明るさが自動的に変わる

- Dolby Vision や HDR10+ 機能で再生中の場合、シーンに合わせて画面の明るさが自動的に変わります。

## 音声

### 聞きたい音声が聞こえない

- 接続や「デジタル出力」の設定を確認してください。(→ 10、23)
- HDMI ケーブルで接続した機器から音声を出力する場合、「HDMI 音声出力」を「入」にしてください。(→ 23)
- 本機の HDMI 映像出力端子にテレビ、HDMI 音声出力端子にアンプを接続している場合、「映像出力端子設定」を「オート (映像のみ / 映像 + 音声)」に設定してください。(→ 10、22)

### 音が出ない

- デジタル音声出力端子から音声を出力する場合、「同軸ダウンサンプリング」を適切に設定してください。(→ 23)
- 「アンプと接続する」(→ 10) を参照のうえ、お使いの機器の接続方法に合った音声出力の各種設定を確認してください。以下の場合は各端子から音声が出力されません。
  - HDMI 映像出力端子
    - HDMI 音声出力端子に機器が接続されていて、「映像出力端子設定」が「オート (映像のみ / 映像 + 音声)」に設定されているとき (→ 22)
    - 「デジタル出力」の「HDMI 音声出力」が「切」に設定されているとき (→ 23)
  - HDMI 音声出力端子
    - 「デジタル出力」の「HDMI 音声出力」が「切」に設定されているとき (→ 23)

## 再生

### ディスクの再生が始まらない、またはすぐに停止する

- ディスクが汚れていませんか。(→ 4)
- ディスクがファイナライズされていません。(→ 6)
- Ultra HD ブルーレイディスクによっては、本機をインターネットに接続していないと再生できない場合があります。

### 写真 (JPEG) が正しく再生できない

- プログレッシブ JPEG など、パソコンで編集した写真は再生できないことがあります。

### BD ビデオの BD-Live が再生できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。(→ 12、13、24)
- 「BD-Live インターネット接続」を確認してください。(→ 25)
- USB 機器が USB 端子に正しく接続されているか確認してください。(→ 8)

## ネットワーク

### ネットワークに接続できない

- ネットワーク接続や設定は正しいですか。(→ 12、13、24)
- 接続した機器の説明書や接続を確認してください。

### ディーガや DLNA 対応機器などのコンテンツを再生できない

- 接続した機器側で本機が登録されていますか。
- すべてのコンテンツを再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

## こんな表示が出たら

テレビ画面にメッセージや数値が表示されたり、電源ランプが点滅しているときは、下記をご確認ください。

- 下記の操作をしても表示が消えない場合、お買い上げの販売店または「修理に関するご相談窓口」(→ **裏表紙**)へ修理を依頼してください。なお、修理のご依頼の際には、テレビ画面に表示されるメッセージまたは電源ランプの点滅方法をお知らせください。

### テレビ画面

**再生できません。**

- 非対応のディスク(映像方式が異なるディスクなど)が入っています。

**本機では再生できません。**

- 非対応の画像を再生しようとしています。
- メディアを入れ直してください。

**非対応ディスクです。**

- ディスクが裏返しになっていませんか。
- ディスクはファイナライズされていますか。  
(→ 6)

**ⓐ この操作はできません。**

- 本機が操作を制限しています。

**IP アドレスが設定されていません。**

- 「IP アドレス /DNS 設定」⇒「詳細設定」で「IP アドレス」が「---.---.---.---」になっています。「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。(必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください)

### 電源ランプ

本機の起動中以外に電源ランプが点滅している場合は、テレビ画面でメッセージを確認してください。テレビ画面でメッセージを確認できない場合は、電源ランプの点滅状態でエラー内容を確認してください。

各マークの示す状態：

- ◆ 点滅
- 消灯
- ..... 繰り返し

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

**(6 回点滅)**

- 本機とリモコンのリモコンモードが違います。本機の【**Ⓛ/!**】を押して電源「入」状態にし、リモコンボタンを押したときにテレビ画面に表示される「リモコン 〇」を確認してください。表示された数字「〇」を押しながら【**決定**】を5秒以上押ししたままにしてください。

◆◆◆◆◆◆◆.....

**(点滅)**

- 著作権保護されたディスクが再生できません。本機に接続された機器(テレビ、アンプなど)が著作権保護技術に対応していません。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

**(3 回点滅)**

- お使いのディスクは著作権情報が不正なため再生できません。

# 仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

## 総合

<b>電源</b>	DC 12 V (DC IN terminal) 1.5 A
<b>消費電力</b>	動作時：約 13 W 待機時（クイックスタート「切」）： 約 0.3 W 待機時（クイックスタート「入」）： 約 4.5 W

<b>寸法</b>	幅 320 mm x 高さ 46 mm x 奥行き 193 mm (突起部を含まず) 幅 320 mm x 高さ 46 mm x 奥行き 198 mm (突起部を含む)
<b>質量</b>	約 1.2 kg
<b>許容周囲温度</b>	5 °C ~ 35 °C
<b>許容相対湿度</b>	10 % ~ 80 %RH (結露なきこと)
<b>テレビジョン方式</b>	NTSC 方式
<b>USB 端子</b>	前面 1 系統 (5 V DC 最大 500 mA) [ハイスピード USB (USB 2.0) 対応]
<b>HDMI 映像・音声出力</b>	出力端子：19 ピン typeA 端子 (1 系統)
<b>HDMI 音声出力</b>	出力端子：19 ピン typeA 端子 (1 系統)
<b>デジタル音声出力</b>	同軸デジタル音声出力 (1 系統)
<b>LAN 端子</b>	10BASE-T/100BASE-TX (1 系統)

## ファイルフォーマット

ファイルフォーマット	拡張子	備考
MKV (圧縮方式 ビデオ： H.264/ HEVC 音声：AAC/ PCM/Vorbis/ FLAC)	“.MKV”、 “.mkv”	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大解像度： 3840 × 2160 30p、 4096 × 2160 24p まで</li> <li>映像解像度やフレームレートなどによって、正しく再生できないものもあります。</li> </ul>
mp4 (圧縮方式 ビデオ： H.264/ HEVC 音声：AAC)	“.MP4”、 “.mp4”、 “.MOV”、 “.mov”	<ul style="list-style-type: none"> <li>最大解像度： 3840 × 2160 30p、 4096 × 2160 24p まで (MPEG2 を除く)</li> <li>映像解像度やフレームレートなどによって、正しく再生できないものもあります。</li> <li>MOTION JPEG：非対応</li> <li>音声の圧縮方式によっては、映像のみ再生し、音声が出力できない場合があります。</li> </ul>
MPEG (TS/PS) (圧縮方式 ビデオ： MPEG2/ H.264 <sup>*1</sup> / HEVC <sup>*1</sup> 音声：AAC <sup>*1</sup> / LPCM <sup>*2</sup> )	“.MPG”、 “.mpeg”、 “.MPEG”、 “.mpeg”、 “.M2TS”、 “.m2ts”、 “.MTS”、 “.mts”、 “.TS”、 “.ts”	<ul style="list-style-type: none"> <li>MOTION JPEG、プログレッシブ JPEG：非対応</li> <li>パソコンなどでフォルダ構造やファイル名を編集したものは再生できない可能性があります。</li> </ul>
JPEG	“.JPG”、 “.jpg”、 “.JPEG”、 “.jpeg”	<ul style="list-style-type: none"> <li>MOTION JPEG、プログレッシブ JPEG：非対応</li> <li>パソコンなどでフォルダ構造やファイル名を編集したものは再生できない可能性があります。</li> </ul>
MPO	“.MPO”、 “.mpo”	3D 写真
MP3	“.MP3”、 “.mp3”	本機は ID3 タグに対応していますが、表示できる情報はタイトル、アーティストの名前、アルバムの名前のみです。
FLAC	“.FLAC”、 “.flac”	最大：192 kHz/24 bit
WAV	“.WAV”、 “.wav”	最大：384 kHz/24 bit
AAC	“.M4A”、 “.m4a”	本機はタグに対応していますが、表示できる情報はタイトル、アーティストの名前、アルバムの名前のみです。 最大：48 kHz/320 kbps
WMA	“.WMA”、 “.wma”	本機はタグに対応していますが、表示できる情報はタイトル、アーティストの名前、アルバムの名前のみです。 最大：48 kHz/385 kbps

ファイルフォーマット	拡張子	備考
DSD (DFF, DSF)	“.DSF”、 “.dsf”、 “.DFF”、 “.dff”	2.8 MHz (2 ch/5.1 ch)、 5.6 MHz (2 ch/5.1 ch)、 11.2 MHz (2 chのみ)
ALAC	“.M4A”、 “.m4a”	本機はタグに対応していますが、表示できる情報はタイトル、アーティストの名前、アルバム名のみです。 最大:192 kHz/24 bit
AIFF	“.aif”、 “.aiff”	最大:384 kHz/24 bit

※ 1 TSのみ

※ 2 PSのみ

- メディアやフォルダの作り方によっては、再生順が異なり再生できない場合があります。
- 同一フォルダ内に記録されたファイルとフォルダは、たとえ異なるフォーマットであってもフォルダ数 300 個、ファイル数 10,000 個まで再生可能です。(例えば、写真再生メニューが表示されていても、再生可能な動画や音楽ファイルが含まれていれば再生可能なファイルとしてカウントされます。)

## ホームネットワーク再生可能 ファイルフォーマット

- サーバーで対応していないファイルフォーマットは、再生できません。

### 映像

コンテナ	映像コーデック	音声コーデック	拡張子例
MKV	H.264 HEVC	AAC PCM Vorbis FLAC	.mkv
AVCHD	H.264	Dolby Digital	.mts
MP4	H.264 HEVC	AAC	.mp4、 .mov
PS	MPEG2	リニア PCM (LPCM)	.mpg、 .mpeg
TS	MPEG2 H.264 HEVC	AAC	.m2ts、 .ts

### 写真

フォーマット	拡張子例
JPEG	.jpg

### 音声

音声コーデック	拡張子例
JPEG	.mp3
FLAC	.flac
WAV	.wav
AAC	.m4a、.adts
WMA	.wma
ALAC	.m4a
AIFF	.aif、.aiff
DSD	.dsf、.dff
リニア PCM (LPCM)	—

## 言語

表示	言語	表示	言語	表示	言語
日	日本語	伊	イタリア語	露	ロシア語
英	英語	西	スペイン語	韓	韓国語
仏	フランス語	蘭	オランダ語	*	その他
独	ドイツ語	中	中国語		

## 言語番号一覧

言語	番号	言語	番号	言語	番号
アイスランド:	7383	ケチュア:	8185	バシキール:	6665
アイマラ:	6589	ゲルスコットランド:	7168	バスク:	6985
アイルランド:	7165	コーサ:	8872	バシウト:	8083
アゼルバイジャン:	6590	コルシカ:	6779	パンジャブ:	8065
アッサム:	6583	サモア:	8377	ヒンディー:	7273
アファル:	6565	サンスクリット:	8365	ビハール:	6672
アフリカーンス:	6570	ショナ:	8378	ビルマ:	7789
アプハリア:	6566	シンド:	8368	フィンジー:	7074
アムハラ:	6577	シンハラ:	8373	フィンランド:	7073
アラビア:	6582	ジャワ:	7487	フェロー:	7079
アルバニア:	8381	スウェーデン:	8386	フランス:	7082
アルメニア:	7289	スペイン:	6983	リビア:	7089
イタリア:	7384	スロバキア:	8375	プータン:	6890
イディッシュ:	7473	スロベニア:	8376	ブルガリア:	6671
インターリングア:	7365	スワヒリ:	8387	ブルターニュ:	6682
インドネシア:	7378	スンダ:	8385	ヘブライ:	7387
ウェールズ:	6789	ズールー:	9085	ベトナム:	8673
ウーロフ:	8779	セルビア:	8382	ベロルシア(白ロシア):	6669
ウクライナ:	8575	セルボクロアチア:	8372	ベンガル(バングラ):	6678
ウズベク:	8590	ソマリ:	8379	ベルシヤ:	7065
ウルドゥー:	8582	タイ:	8472	ポーランド:	8076
ヴォラビュク:	8679	タガログ:	8476	ポルトガル:	8084
英語:	6978	タジク:	8471	マオリ:	7773
エストニア:	6984	タタール:	8484	マケドニア:	7775
エスペラント:	6979	タミル:	8465	マダガスカル:	7771
オーリヤ:	7982	チェコ:	6783	マライ(マレー):	7783
オランダ:	7876	チベット:	6679	マラッタ:	7782
カザフ:	7575	中国語:	9072	マラヤーラム:	7776
カシミール:	7583	ティグリニア:	8473	マルタ:	7784
カタロニア:	6765	テルグ:	8469	モルダビア:	7779
ガリチア:	7176	デンマーク:	6865	モンゴル:	7778
韓国(朝鮮)語:	7579	トルウ:	8487	ヨルバ:	8979
カナダ:	7578	トルクメン:	8475	ラオ:	7679
カンボジア:	7577	トルコ:	8482	ラテン:	7665
キルギス:	7589	トンガ:	8479	ラトビア(レット):	7686
ギリシャ:	6976	ドイツ:	6869	リトアニア:	7684
クルド:	7585	ナウル:	7865	リಂಗガ:	7678
クオアチア:	7282	日本語:	7465	ルーマニア:	8279
グアラニー:	7178	ネパール:	7869	レトロマンズ:	8277
グジャラト:	7185	ノルウェー:	7879	ロシア:	8285
グリーンランド:	7576	ハウサ:	7265		
グルジア:	7565	ハンガリー:	7285		

## 音声と接続・設定の関係

アンプに接続する端子と本機の設定によって、出力される音声は異なります。(→ 23 「デジタル出力」)

- 表内の ch (チャンネル数) は、各音声フォーマットに対応したアンプと接続したときの最大チャンネル数を表しています。

### HDMI 出力 / 同軸 (デジタル音声出力)

接続端子	HDMI 出力端子 <sup>*8</sup>				同軸端子			
	Bitstream <sup>*1</sup>		PCM <sup>*3</sup>		Bitstream		PCM	
「デジタル出力」の設定	入 <sup>*4</sup>	切	入 <sup>*5</sup>	切	入	切	入	切
Dolby Digital Dolby Digital EX <sup>*6</sup>	Dolby Digital		DVD ビデオ : 5.1ch BD ビデオ : 6.1ch		Dolby Digital Dolby Digital EX <sup>*8</sup>		ダウン ミックス 2ch	
Dolby Digital Plus Dolby TrueHD			7.1ch		Dolby Digital			
DTS <sup>®</sup> Digital Surround™ DTS <sup>®</sup> Digital Surround™   ES <sup>*6</sup>	DTS <sup>®</sup> Digital Surround™	オリジナル の音声で 出力	DVD ビデオ : 5.1ch BD ビデオ : 7.1ch		DTS <sup>®</sup> Digital Surround™ DTS <sup>®</sup> Digital Surround™   ES <sup>*8</sup>			
DTS-HD <sup>®</sup> High Resolution Audio			7.1ch		DTS <sup>®</sup> Digital Surround™			
DTS-HD <sup>®</sup> Master Audio								
7.1ch LPCM	7.1ch PCM				ダウンミックス 2ch PCM			

※ 1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS<sup>®</sup> Digital Surround™ の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM (例：テレビなど) で出力します。

※ 2 「BD ビデオ副音声・操作音」(→ 23) を「自動切換」に設定すると、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD<sup>®</sup> に対応した HDMI 機器を接続している場合には、オリジナルの音声を優先して出力します。

※ 3 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※ 4 BD ビデオ：副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声・操作音」(→ 23) を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※ 5 副音声や操作音を含む BD ビデオの再生時は、5.1ch で出力します。

※ 6 DVD ビデオの再生時に PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DTS<sup>®</sup> Digital Surround™ | ES は DTS<sup>®</sup> Digital Surround™ としてデコードした PCM 音声になります。

※ 7 BD ビデオ：「BD ビデオ副音声・操作音」(→ 23) を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS<sup>®</sup> Digital Surround™ | ES は DTS<sup>®</sup> Digital Surround™ の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

※ 8 「DTS Neo:6」を「シネマ」または「ミュージック」に設定すると、2ch (2.1ch) 音声を 7ch (7.1ch) 音声に拡張して出力することができます。

## 4K 出力のためのお勧めの設定と出力映像信号

本機を 4K 対応テレビに接続して、下記表の設定にすると、本機から 4K 映像を出力することが可能になります。

接続する テレビの種類	再生素材		本機のお勧め設定	本機から出力される映像信号	
			初期設定 <sup>※1</sup> 「4K/60p 出力」 (→ 22)	解像度	フレームレート カラースペース 最大ビット数
4K 60p 4:4:4 まで対応	BD ビデオ	24p	4K/60p (4:4:4)	4K	24p, 4:4:4, 12 bit
	BD ビデオ / 録画番組	60i			60p, 4:2:2, 12 bit
	Ultra HD ブルーレイ <sup>※2</sup>	24p			24p, 4:4:4, 12 bit <sup>※3</sup>
		60p			60p, 4:2:2, 12 bit <sup>※3</sup>
4K 60p 4:2:0 まで対応	BD ビデオ	24p	4K/60p (4:2:0)	4K	24p, 4:4:4, 8 bit
	BD ビデオ / 録画番組	60i			60p, 4:2:0, 8 bit
	Ultra HD ブルーレイ <sup>※2</sup>	24p			24p, 4:2:2, 12 bit <sup>※3</sup>
		60p			60p, 4:2:0, 8 bit <sup>※4</sup>
4K 24p まで対応	BD ビデオ	24p	切	4K	24p, 4:4:4, 8 bit
	BD ビデオ / 録画番組	60i			4K 出力はできません
	Ultra HD ブルーレイ	24p			
		60p			

※ 1 その他の初期設定値（お買い上げ時の設定）

- 「出力解像度」(→ 22)：「オート」
- 「24p 出力」(→ 22)：「オート」
- 「カラースペース」(→ 23)：「YCbCr」

※ 2 接続するテレビの HDMI 端子は、HDCP2.2 に対応している必要があります。

※ 3 接続するテレビが HDR 対応で、再生素材が HDR 素材の場合は、HDR で出力可能です。

※ 4 接続するテレビが HDR 対応で、再生素材が HDR 素材でも、HDR では出力できません。  
(通常のダイナミックレンジに変換して出力します)

## 著作権など

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
  - Dolby、ドルビー、Dolby Vision、ドルビービジョン、Dolby Audio、ドルビーオーディオ及びダブル D 記号はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。
  - ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  - Confidential unpublished works.  
Copyright © 1992-2024 Dolby Laboratories.  
All rights reserved.
  - FOR DTS PATENTS, SEE  
[HTTP://XPERI.COM/DTS-PATENTS/](http://xperi.com/dts-patents/)  
MANUFACTURED UNDER LICENSE FROM DTS, INC. AND ITS AFFILIATES. DTS, DTS-HD MASTER AUDIO, AND THE DTS-HD LOGO ARE REGISTERED TRADEMARKS OR TRADEMARKS OF DTS, INC. AND ITS AFFILIATES IN THE UNITED STATES AND/OR OTHER COUNTRIES. © DTS, INC. AND ITS AFFILIATES. ALL RIGHTS RESERVED.
  - パナソニックは日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にハイレゾロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。
  - HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
  - Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
  - QR コードは、株式会社デンソーウェアの登録商標です。
  - 日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のモバイル Wnn を使用しています。  
"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd.  
1999-2002 All Rights Reserved
  - "AVCHD"、"AVCHD 3D"、"AVCHD Progressive"、および "AVCHD 3D/Progressive" はパナソニックホールディングス株式会社とソニー株式会社の商標です。
  - "DVD Logo" は DVD フォーマットロゴライセンスング株式会社の商標です。
  - 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
    - (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して (以下、AVC ビデオ) 記録すること。
    - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
  - 本製品は、VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
    - (i) 画像情報を VC-1 規格に準拠して (以下、VC-1 ビデオ) 記録すること。
    - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された VC-1 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した VC-1 ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
  - 本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
  - Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  - Windows Media、Windows ロゴは米国その他の国で米国 Microsoft Corporation の登録商標または商標になっています。
  - 本製品は、Microsoft Corporation と複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配付は、Microsoft もしくは権限を有する Microsoft の子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
  - DSD はソニー株式会社の登録商標です。
  - FLAC のソフトウェアライセンス文は、下記操作で「ライセンス」をご参照ください。(→ 26)
- 【初期設定】⇒「システム設定」⇒「システム情報」**
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
  - Copyright 2004-2014 Verance Corporation.  
Cinavia™ は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
  - この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。
- (1) パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社 (パナソニック) が独自に開発したソフトウェア
  - (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
  - (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
  - (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
  - (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア
- 上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品の初期設定画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。
- パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読み取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。
- 問い合わせ窓口：oss-cd-request@egg.jp.panasonic.com
- また、これらのソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
- <https://panasonic.net/cns/oss/>

## 必要なとき

### (1) MS/PlayReady/Final Product Labeling

This product contains technology subject to certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of this technology outside of this product is prohibited without the appropriate license(s) from Microsoft.

### (2) MS/PlayReady/End User Notices

Content owners use Microsoft PlayReady™ content access technology to protect their intellectual property, including copyrighted content. This device uses PlayReady technology to access PlayReady-protected content and/or WMDRM-protected content. If the device fails to properly enforce restrictions on content usage, content owners may require Microsoft to revoke the device's ability to consume PlayReady-protected content. Revocation should not affect unprotected content or content protected by other content access technologies. Content owners may require you to upgrade PlayReady to access their content. If you decline an upgrade, you will not be able to access content that requires the upgrade.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重致します。



## 保証とアフターサービス (よくお読みください)

使いかた・お手入れ・修理などは

### ■ まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	(       )       -
お買い上げ日	年       月       日

### 修理を依頼されるときは

「故障かな! ?」「こんな表示が出たら」(→ 27 ~ 30) でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名	ブルーレイディスクプレーヤー
● 品番	DP-UB45S
● 故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このブルーレイディスクプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

- 転居や贈答品などで困りの場合は、裏表紙の「DIGA（ディーガ）・オーディオ使い方・お手入れなどのご相談窓口」、「修理に関するご相談窓口」にご連絡ください。

#### 【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

# さくいん

## 英数字

- 3D .....16
- 4K ..... 9、13、22、34
- 24p .....22
- BD-Live.....16
- HDMI CEC .....17
- MP4 再生.....5、31、32
- Ultra HD ブルーレイ .....16
- USB 機器 ..... 6

## あ 行 ページ

- お部屋ジャンプリンク .....18
- 音声
- 切換 .....15
- 言語 .....24

## か 行 ページ

- 言語
- 音声 .....20、24
- 字幕 .....24
- メニュー .....24
- 高音質ハイレゾオーディオ対応  
    (ALAC、DSD、FLAC、LPCM) .....31

## さ 行 ページ

- 字幕 .....20、24
- 初期設定リセット .....26
- ソフトウェアの更新 .....13

## た 行 ページ

- 続き再生メモリー .....14

## な 行 ページ

- ネットワーク
- 接続 .....12
- 設定 .....13、24

## は 行 ページ

- ファイルフォーマット .....31
- ポップアップメニュー .....15

## ま 行 ページ

- メディアレンダラー .....19

## ら 行 ページ

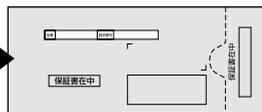
- リポート .....20

# 「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

家電情報をまとめて登録管理、登録商品のサポートも充実  
詳しくはこちら <https://club.panasonic.jp/aiyo/>



- 保証書用封筒に記載されているQRコードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます



## サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support>



### DIGA (ディーガ)・オーディオ 使い方・お手入れなどのご相談窓口



フリーダイヤル パナは キュウハチニ

**0120-878-982**

受付時間  
9:00~18:00 月~土曜日  
(祝日・正月三が日を除く)

- 上記電話番号がご利用  
いただけない場合 **06-6907-1187**
- FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



### 修理に関するご相談窓口



フリーダイヤル パナは イイヨ

**0120-878-554**

- 上記電話番号がご利用  
いただけない場合 **03-6633-6700**



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

- ・掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。  
(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。

## 愛情点検

### 長年ご使用のブルーレイディスクプレーヤーの点検を!



こんな症状は  
ありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がる
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用  
中止

故障や事故防止のため、  
電源を切り、コンセント  
から電源プラグを抜い  
て、必ず販売店に点検を  
ご相談ください。

パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2025

DVQP3376ZA/X1

CH0125XZ0